

# 「文化財総合的把握モデル事業」

## 募集案内

平成20年5月

文化庁文化財部伝統文化課

# 「文化財総合的把握モデル事業」募集案内

## 1 趣旨

地域の歴史や特色を表し、古来様々な形態で存在・継承されてきた文化財については、地域の視点から総合的に把握し、地域住民の心のよりどころとしてその保存・活用を図ることが望まれる。

平成19年10月の「文化審議会文化財分科会企画調査会報告書」で提言されている「歴史文化基本構想」及び「保存活用計画」（以下「歴史文化基本構想」等）と言う。）が市区町村において策定されることで、一定の方針に基づいた文化の薫り高い空間が形成され、地域の魅力の増進と活力の向上が期待される。

このため、文化庁では、全国の市区町村において「歴史文化基本構想」等を策定することができるよう、「歴史文化基本構想」等の策定の指針を作成することを予定している。

この度、全国の市区町村において使用できる指針を作成するため、文化財に関する調査の進展等、文化財の保存・活用の取組状況が異なる複数の市区町村に対し、モデルケースとして「歴史文化基本構想」等の策定を委託するものである。

## 2 委託先

市区町村

## 3 実施体制

事業の実施に当たっては、次の（１）～（７）から構成される歴史文化基本構想等策定委員会を設置する。

- （１）当該市区町村教育委員会
- （２）当該市区町村都市計画担当部局、農村振興担当部局 等
- （３）当該市区町村が存する都道府県教育委員会
- （４）当該市区町村が存する都道府県都市計画担当部局、農村振興担当部局 等
- （５）住民
- （６）有識者
- （７）その他関係機関

※１ 事務局は市区町村教育委員会に置くこととする。

※２ （２）、（４）は、「歴史文化基本構想」等を策定するに当たって連携が必要と考えられる他の行政計画等（地方自治法第2条第4項に定める基本構想、都市計画法、農地法、農業振興地域の整備に関する法律、森林法、自然公園法に定める土地利用規制、災害対策基本法に定める地域防災計画等）の担当部局を想定している。

## 4 委託事業の内容

委託先においては、以下の事業を実施する。

- （１）域内の全ての文化財類型の調査
- （２）調査に基づいた「歴史文化基本構想」の策定
- （３）「歴史文化基本構想」に基づいた「保存活用計画」の策定
- （４）地域住民等に対する説明会等の開催

※ （１）の調査の結果存在しなかった文化財類型については、（２）の「歴史文化基本構想」に反映する必要はない。

5 委託件数  
10件程度

6 事業期間  
平成20年7月1日～平成23年3月31日までの最長3カ年度間  
※ 委託契約は年度単位で行う。(各年度1,500万円/件を上限とする)

7 選定方法  
事業の選定に当たっては、市区町村から提出された文化財総合的把握モデル事業計画書(以下、「事業計画書」という。)の内容について、文化庁内に設置する文化財総合的把握モデル事業選定委員会の意見を聴くものとする。選定結果は、都道府県教育委員会を經由し通知するものとする。

8 選定基準  
以下の全ての基準を満たすものであること。  
(1)「歴史文化基本構想」等の策定指針を作成するに当たってモデルとなることが期待される事業計画書であること  
(2)文化財担当部局とその他関連する担当部局の連携が綿密にとれている事業計画書であること  
(3)様々な方法で地域住民の参加が期待される事業計画書であること  
(4)経費予定額の内訳が適切な事業計画書であること

9 提出期間  
平成20年5月12日(月)～6月13日(金)(必着)

10 提出資料  
事業計画書(別添様式参照)  
※ 記入例を参考に作成すること。提出資料は日本工業規格A4版で統一すること。

11 提出方法  
事業の委託を受けようとする市区町村は、事業計画書を都道府県教育委員会に提出すること。なお、相互に関連性のある市区町村の場合は、関連する市区町村が連名で事業計画書を提出することができる。(事業の内容及び事業経費については、各市区町村ごとに作成すること。)

また、都道府県教育委員会は市区町村から提出された事業計画書を取りまとめ、文化庁文化財部伝統文化課に電子媒体で提出すること(提出先:denbun@bunka.go.jp)。なお、提出に当たっては、市区町村から事業計画書が届き次第、順次提出できることとする。

12 問い合わせ先  
文化庁文化財部伝統文化課文化財保護調整室企画調整係 田中  
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2  
Tel:(03)6734-2415(直通)  
Fax:(03)6734-3820  
E-mail: yasunari@bunka.go.jp

# 文化財総合的把握モデル事業計画書

〇〇市

連絡担当者

所属及び職名	氏名	
電話番号	FAX番号	E-mail

# I 事業の内容

## 1. 事業の概要

## 2. 市区町村の基礎情報

- (1) 市区町村の面積
- (2) 市区町村の人口
- (3) 市区町村の歴史的背景

## 3. 事業の期間

## 4. 事業実施計画

## 5. 事業実施体制

- (1) 歴史文化基本構想等策定委員会委員

- (2) 事務体制

項 目	事業担当 (●責任者)

## 6. 実施工程表 (項目別)

項 目	実施期間 ( 年 月 日 ~ 年 月 日 )											
	年度	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

## 7. 文化財の把握状況

- (1) 文化財の調査状況

種 別	過去の調査実績と今後の調査予定

- (2) 把握文化財

- ①国指定・選定・登録文化財

指定等分類	名 称	所 在 地

②都道府県指定文化財（指定以外の独自の制度で文化財を保護している場合も含む。）

指定等分類	名 称	所 在 地

③市区町村指定等文化財（指定以外の独自の制度で文化財を保護している場合も含む。）

指定等分類	名 称	所 在 地

④指定等が行われていない文化財

種 別	名 称	所 在 地

8. 関連文化財群

設定のテーマ	関連文化財群の特徴	文化財の名称

※1 現在、有形・無形の文化財を歴史的関連性や地域的関連性などに基づいて、「相互に関連性のある一定のまとまり（関連文化財群）」としてとらえている市区町村は記入してください。

※2 「関連文化財群」を複数設定している場合は、「関連文化財群」ごとに記入してください。

※3 博物館、劇場等、各種文化施設を含んでいる場合は、その旨がわかるように記入してください。

9. 他の行政計画との関係

## II 事業経費

### 1. 経費予定額

(単位：円)

事業年度	経費予定額
合計	

### 2-1. 経費予定額の内訳

( 年度)

(単位：円)

費目	種別	内訳	経費予定額
人件費	賃金		
		小計	
事業費	諸謝金		
		小計	
	旅費		
		小計	
	借損料		
		小計	
	消耗品費 (図書購入費)		
		小計	
会議費			
	小計		
通信運搬費			
	小計		
雑役務費			
	小計		
消費税相当額			
	小計		
再委託費	再委託費		
合計			

2-2. 再委託費内訳

機関名：

(単位：円)

費目	種別	内訳	経費予定額
		----- 小計	-----
合計			



(記入例)

# 文化財総合的把握モデル事業計画書

〇〇市

連絡担当者

所属及び職名	氏名	
電話番号	FAX番号	E-mail

## I 事業の内容

### 1. 事業の概要

※ 「歴史文化基本構想」及び「保存活用計画」（以下「歴史文化基本構想」等）と言う。）の概要や、それらを策定する趣旨、目的、ねらいを記載してください。

### 2. 市区町村の基礎情報

- (1) 市区町村の面積 ○○. ○ha
- (2) 市区町村の人口 ○○. ○万人
- (3) 市区町村の歴史的背景

### 3. 事業の期間

平成○○年○月○○日～平成○○年○月○○日

### 4. 事業実施計画

(20年度)

6月 歴史文化基本構想等策定委員会（第1回）の開催

- ・域内の文化財の把握状況の報告
- ・今後調査が必要な文化財類型及び調査方法の検討

7月 地元説明会の実施

- ・「歴史文化基本構想」等の策定趣旨の説明
- ・「歴史文化基本構想」等策定のための文化財調査への協力要請

3月 歴史文化基本構想等策定委員会（第○回）の開催

- ・委託事業成果報告書のまとめ
- ・次年度事業計画の検討

(21年度)

(22年度)

### 5. 事業実施体制

#### (1) 歴史文化基本構想等策定委員会委員

氏名（専門分野）	役職
○○○○（文化財行政）	○○市教育委員会次長
○○○○（都市計画行政）	○○市都市計画部長
○○○○（農業振興行政）	○○市農林水産部長
○○○○（文化財行政）	○○県教育委員会文化財課長（予定）

- 〇〇〇〇（都市計画行政）      〇〇県都市計画部都市計画課長（予定）
- 〇〇〇〇（農業振興行政）      〇〇県農林水産部農政課（予定）
- 〇〇〇〇（民間企業）      〇〇市商工会議所会長（予定）
- 〇〇〇〇（住民）      NP0法人〇〇〇〇代表（予定）
- 〇〇〇〇（〇〇〇）      〇〇大学教授（予定）

※ 有識者は、文化財、都市計画、農業土木等、文化財とその周辺環境を保護するための施策を検討するのに必要な専門家を含むことが望ましい。

(2) 事務体制

項 目	事業担当（●責任者）
・ 歴史文化基本構想等策定委員会の運営	●文化財課長      〇〇〇〇 "    〇〇係長      〇〇〇〇
・ 文化財調査	●文化財課専門職      〇〇〇〇
・ 歴史文化基本構想の策定	●文化財課長      〇〇〇〇 都市計画課長      〇〇〇〇 農政課長      〇〇〇〇
・ 保存活用計画の策定	●文化財課長      〇〇〇〇 都市計画課長      〇〇〇〇 農政課長      〇〇〇〇
・ 地元説明会	●文化財課長補佐      〇〇〇〇
・ 文化財の防災体制の構築	●総合防災課長      〇〇〇〇 文化財課〇係長      〇〇〇〇
・ 〇〇〇	●〇〇〇〇      〇〇〇〇

6. 項目別実施期間

項 目	実施期間（〇〇年〇月〇日 ~ 〇〇年〇月〇日）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
20年度			○			○		○		○		○
歴史文化基本構想等策定委員会			○			○		○		○		○
文化財調査	→											
歴史文化基本構想の策定	→											
保存活用計画の策定	→											
地元説明会				○								
21年度		○		○		○		○		○		○
歴史文化基本構想等策定委員会		○		○		○		○		○		○
文化財調査	→											
歴史文化基本構想の策定	→											
保存活用計画の策定	→											
地元説明会	○										○	
22年度		○		○		○		○		○		○
歴史文化基本構想等策定委員会		○		○		○		○		○		○
文化財調査	→											

歴史文化基本構想の策定	→										
保存活用計画の策定					→						
地元説明会			○						○		○

7. 文化財の把握状況

(1) 文化財の調査状況

類 型	過去の調査実績と今後の調査予定
有形文化財(建造物)	昭和〇年に寺社の調査、平成〇年に近代の調査を行ったが、寺社の調査に関しては、実施時期が古いうえ、精度がまちまちである。今後、寺社の再調査とともに、民家の調査を行う必要がある。

※ 文化財保護法第2条第1項の文化財類型ごとに調査状況を記入してください。

(2) 把握文化財

①国指定・選定・登録文化財

指定等分類	名 称	所 在 地

②都道府県指定文化財（指定以外の独自の制度で文化財を保護している場合も含む。）

指定等分類	名 称	所 在 地

③市区町村指定等文化財（指定以外の独自の制度で文化財を保護している場合も含む。）

指定等分類	名 称	所 在 地

④指定等が行われていない文化財

種 別	名 称	所 在 地

※ 把握文化財をリスト化している場合は、そのリストを添付していただければ結構です。

8. 関連文化財群

設定のテーマ	関連文化財群の特徴	文化財の名称
〇〇城及び城下町の関連文化財群	※ 「テーマの設定の理由」、「文化財相互の関連性」、「関連文化財群の保存・活用の取り組み」等を記入してください。	県指定〇〇家住宅、〇〇住宅、〇〇家住宅、市指定〇〇古文書、〇〇祭り、県指定無形民俗文化財〇〇踊り、国指定史跡〇〇城跡、県指定名勝〇〇庭園、国選定〇〇伝統的建造物群保存地区

※ 1 文化財の総合的な把握の進捗状況を確認するための項目ですので、現在、有形・無形の文

化財を歴史的関連性や地域的関連性などに基づいて、「相互に関連性のある一定のまとまり（関連文化財群）」としてとらえている市区町村のみ記入してください。

※2 「関連文化財群」を複数設定している場合は、「関連文化財群」ごとに記入してください。

※3 博物館、劇場等、各種文化施設を含んでいる場合は、その旨がわかるように記入してください。

#### 9. 他の行政計画との関係

都市計画法における市町村マスタープランと整合性を図り、歴史文化基本構想を策定する予定である。また、今後、景観法に基づく景観計画を作成する予定にしているが、その際は、歴史文化基本構想の趣旨を踏まえ、保存活用計画と整合性を図りながら作成する予定である。

※ 「歴史文化基本構想」等と都市計画法における市町村マスタープラン、景観法における景観計画等との関連を、どのように位置づける予定かを記入してください。

## II 事業経費

### 1. 経費予定額

(単位：円)

事業年度	経費予定額
20年度	*, ***, ***
21年度	*, ***, ***
22年度	*, ***, ***
合計	** , ***, ***

### 2-1. 経費予定額の内訳

※ 各年度ごとに内訳の作成をお願いします。

(20年度)

(単位：円)

費目	種別	内訳	経費予定額
人件費	賃金	集計労務費 *時間 **日 *月 @***円	*, ***, ***
		文化財調査費 **日 @** , ***円	*, ***, ***
		小計	*, ***, ***
事業費	諸謝金	委員会出席謝金 *人 *回 @** , ***	***, ***
		説明会出席謝金 *人 *回 @** , ***	** , ***
		小計	***, ***
	旅費	委員出席旅費 *人 *回 @** , ***	***, ***
		説明会出席旅費 *人 *回 @** , ***	***, ***
		小計	***, ***
	借損料	委員会会場借料 *17 *回 @** , ***	** , ***
		説明会会場借料 *17 *回 @** , ***	** , ***
		小計	***, ***
	消耗品費 (図書購入費)	消耗品費	***, ***
		小計	***, ***
	会議費	会議費 *人 *回 @***	*, ***
		小計	*, ***
	通信運搬費	通信運搬費	*, ***
小計		*, ***	
雑役務費	写真現像料	*, ***	
	小計	*, ***	
消費税相当額		** , ***	
	小計	** , ***	
再委託費	再委託費	文化財調査	*, ***, ***
合計			*, ***, ***

2-2. 再委託費内訳

機関名：〇〇大学

(単位：円)

費目	種別	内訳	経費予定額
再委託費	再委託費	文献史料調査 *人 *日 @** , **	* , ** , **
		現地確認調査 *人 *日 @** , **	* , ** , **
		一般管理費	** , **
		小計	* , ** , **
合計			* , ** , **